

「富合町合併特例区終了式・富合町合併記念碑除幕式」 平成25年10月5日午前9：30～ 南区役所庁舎正面玄関前

5年間の合併特例区が終了しました。富合町が熊本市と合併するまで、そして現在までのあゆみを記念して記念碑を設置。式典と記念碑除幕式には、幸山熊本市長、齊藤市議会議長、くつき市議と南区在住の市議、富合町の地区長をはじめ多くの方に出席いただきました。幸山市長からは来賓のご挨拶がありました。



幸山市長挨拶より

「平成19年1月に法定協議会を設置し協議を重ね、平成20年10月6日に『熊本市富合町』が誕生しました。熊本市との合併では町を二分する論争を重ね、熊本市との合併を決断いただきました。苦渋の決断であったと思います。特例区設置期間中は村崎合併特例区長をはじめ、協議会の構成員の皆様が新しい熊本市の中で地域の振興について活動을続けてこられたことに対し感謝します。

新しい南区の中での変化に戸惑いはあろうかと思えます。長年培ってきた富合町のよさを守り、つないでいく努力をいたします。新たに策定した区のまちづくりビジョンに沿って、南の玄関口としての“まちづくり”は進みつつあります。そこに住む人がはぐくみ、育てていくことだと思います。新しい熊本市づくりの一翼を担っていただければ幸いです。共に“まちづくり”を進めていきましょう。熊本市との合併を決めていただいたことに感謝しております」。



出席者で除幕された「記念碑」

「大変お世話になりました。ありがとうございました」 富合町合併特例区長 村崎 秀



村崎区長は感謝の言葉で

私は、平成16年3月17日に第14代富合町長に就任。合併後は富合町合併特例区長を務めました。大変激動の9年6ヶ月でしたが、政策実行が出来たのは町内外の皆様のご協力のおかげでした。

合併問題は富合町を二分する中で熊本市との合併を決定し、新しくまちづくりが始まりました。新幹線車両基地設置、富合駅の無償での設置では、大変大きな投資をしていただき感謝しております。富合駅は通勤通学に利用され、乗客数は大変増えています。

小中一貫教育は平成16年4月に導入され、10年目を迎えました。学力の向上と併せて人間性豊にと

教育効果が上がりうれしいことです。平成26年からも同様の教育内容は続きます。

また、田迎木原線も平成20年11月に開通、宇土川尻線歩道設置、国道3号線の4車線開通、富合中学校の建て替え等の事業が出来ました。

熊本市との合併については、メリット、デメリットがあります。新市計画で10年間で約93億円。上下水道では約60億円。富合町時代には考えられない規模です。しかし、中学校横の駐車場問題、夜間照明問題、図書館の閉館時間問題など町民には問題点です。ご迷惑をおかけしますが、どうぞご協力をお願い致します。

私は退任しますが、私達が生まれ育った富合町地域を皆様と共に発展、繁栄させていきましょう。

合併特例区協議会と致しましては、新市基本計画を基に積極的に推進してまいりました。

今後は、富合校区自治協議会を中心にまちづくりが進むことと思います。住民の参加と協力が絶対に必要となります。どうぞよろしくお願い致します。

最後に、これまでご支援、ご鞭撻をいただきました皆様のご健勝を祈念し、お礼の言葉とします。

富合町合併特例区協議会長 田中 榮信